

# 北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

## 令和5年度第2回ピアカウンセリング研修会(ハイブリット方式)終了報告

### 講演

どんなことでもいい、話したい気持ち、大切に

ワークショップ：相手と話したいことを決め、互いに話し、聞き合ってみよう

昨年11月26日(日)、札幌市「かでの2・7」をホスト会場に、全道の本人会及び当事者の皆さんを対象とした標記の研修会が実施されました。限られた時間ではありましたが、貴重な成果を収め、終了することができました。

この取り組みは、身体、知的障がい者を対象に日常生活や社会生活における必要な知識、技術の習得を目的とした北海道の「障がい者社会参加総合推進事業」を活用し、道育成会が企画、運営をしてきました。

具体的には障がいのある当事者の「自己決定」や「自己選択」の力を育て、互いに支え合って社会参加をめざす「ピアカウンセリング」について研修を続けていきます。

今回は、会場…7団体・26名(当事者16名)、オン



ライン参加者…7団体49名(当事者37名)、全体で14団体、75名(当事者53名)という多くの皆さんに参加をいただきました。

講師は国際会議等で優生思想の撤廃や障がいのある方々の「自立生活運動」など、様々な分野での発言や著書出版され、我が国を代表するピアカウンセラー「安積遊歩」さんです。左記のように過去3回に及ぶ研修会にご協力をいただいています。



- ・令和元年6月 (9団体47名) 「自分自身と人との心地よい関係をつくるために」
  - ・令和3年12月 (12団体60名) 「ピアカウンセリングのねらいとは」
  - ・令和5年6月 (14団体73名) 「互いに話し、聞き合うこと」
- \* (参加者) 「講演テーマ」

研修会参加者が徐々に増えていることが伺えます。これはお話し(講演)後の「ワークショップ」における体験や、講師のデモンストレーションによる丁寧な研修内容と合わせ、繰り返し学び続けていることが参加者の理解を深め、研修会への意欲を高めてきているように感じます。

参加者の感想をご紹介します。

#### 【本人】

- ・今回も参加して、奥の深い話を聞けて、とても勉強になりました。
- ・ペアになった人の仕事が分かりました。皆大変な仕事をしていることが分かりました
- ・相手の話を顔を見てしっかり聞いてあげるのが大事だと思いました。気持ちの整理になった。本当に勉強になる。

#### 【支援者】

- ・継続して受けると理解が深まりました。
- ・とても分かり易い説明でした。
- ・仲間と話をする。聞く機会も大切だと思いました。聞く方が難しいと感じました。

「ピアカウンセリング」は一人ひとりの『意思決定』を育てる有効な取り組み。引き続き、参加者のご意見を伺いながら、質の高い研修会をめざします。

# 日頃の「モヤモヤ」

## 晴らしたい!

昨年11月、札幌「北農健保会館」を会場に事業所23ヶ所、66名(会場37名・Zoom29名)と多くの参加をいただき、標記の研修会が開催されました。

冒頭、令和6年度に実施される「報酬改定」に関する議論の現状について、全国手をつなぐ事業所協議会、松崎理事長より「中央情勢報告」がありました。

急激な物価高の波が押し寄せる中、厳しい運営を強いられる事業所の声を他の団体と共同し、全国的な規模で関係省庁に届けていることや、今後も新年度に向けて、事業所運営に必要な情報提供を行っていくとのことでした。

なお、この度は「(一社)社労士成年後見センター北海道」様のご後援をいただき「成年後見制度と労働法」をテーマに、第1部「いつ出会っても困らない『成年後見制度』の現状と課題」、第2部「労働者&管理職が知りたい働いたためのルール基本の『キ』」と題し、専門職の方々より、ポイントを絞った大変分かり易いお話をいただくことができました。その後は「グループワーク」に移りました。



《困りごと次々…でも、話せてよかった!》

### 事業所運営のモヤモヤ

ぼぶら事業所菊地英文所長(旭川手をつなぐ育成会)より自事業所の取り組みと運営に関する課題提起を受け、意見交換を行いました。

「定員割れし、利用者確保もままならない」「職員を募集したが応募がない」「高工賃を目指しても作業に携われる利用者が減っている」「事務作業が煩雑」「生活介護やグループホーム事業を始めたが…」等々、短い時間で様々な困りごとが出されました。具体的な改善策までは見出すことは難しかったのですが、お互いの好事例などを交流し、ヒントを得た参加者もあつたようです。

最後、「地域ニーズを事業所で、どう受け止るか」が大切であることや「事業所協議会会員同士が気軽に相談し合える関係づくりが解決への近道」と討議をまとめ、終了後は改めて、参加者皆さんで名刺交換をして終えました。



Aグループ 門内 勇治

### 利用者支援のモヤモヤ

帯広市手をつなぐ育成会、ワークセンターはまなす「とつた共同作業所」池原恒介支援員からの話題提供や、参加者からの発言を含め、次のような課題に整理して討議が行われ

ました。

「利用者支援」では個々の障害特性やパーソナリティ、年齢によって支援方法が異なることから「個別支援」と捉える必要がある一方、時には「不公平な支援」になっってしまうこともある。また、新型コロナウイルスが5類に移行し、感染対策が個人判断に委ねられることから、事業所としての対策と職員個々の感染対策の捉え方考え方にズレが生じていること等です。

もちろん他にも、様々な事が話題となりましたが、限られた時間での話し合いのため、良い解決策に至るといふ事は難しかったです。しかし、参加者それぞれが悩みを発表し、聞き合うことは、支援者として互いに共感できる貴重な場です。少しでも良い支援をしたかと思ひ、悩みながら頑張る仲間が存在は、きつと大きな励みになったのではないでしようか。

Bグループ 若松 修一

### 《案内》

「特別研修会」(参加費無料)

講師:「又村 あおい」氏

(全育連事務局長)

『法改正・報酬改定と

意志決定支援』



\*詳しくは次ページを「覧下さい」。

# 特別研修会

●主催：一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

●後援：北海道知的障害児者生活サポート協会

## 「法改正・報酬改定と 意思決定支援」

- ・就労系サービスの見直しは・・・
- ・意思決定支援の前にあるもの・・・

令和6年4月から、障害者総合支援法が改正されます。特にグループホームからの自立支援は、知的・発達障害のある人が「どのような暮らし方を希望するか」に影響しそうです。そこで今回は、法改正の概要と意思決定支援をテーマに取り上げます。



日 時：令和6年（2024年）2月26日（月）14:00～16:00

会 場：かでの 2.7 10階 1040会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）

※ZOOMでの参加もお受けします。

講 師：又村 あおい 氏（一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会  
常務理事兼事務局長）

### 《又村 あおい氏 プロフィール》 昭和48年生まれ

- ・平成7年、神奈川県平塚市役所入庁
- ・平成11年度から18年度まで平塚市役所障がい福祉課に在籍  
その間、障がい者福祉計画、支援費制度・自立支援法の施行、障がい児支援全般を担当
- ・平成19年度・18年度は神奈川県庁（総合政策課）へ出向
- ・その後、企画政策課政策担当（特命担当）に所属
- ・平成26年度に内閣府 障害者施策担当・障がい者制度改革担当室）へ出向
- ・令和2年4月より「一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長」
- ・日本発達障害連盟常務理事（発達障害白書・JLニュース）編集長）
- ・厚生労働省障害児通所支援の在り方に関する検討委員
- ・内閣府障がい者差別解消法アドバイザー

主な著書： あたらしいほうりつの本・同改訂版（全国手をつなぐ育成会連合会）

お申込み・お問い合わせ 北海道手をつなぐ育成会 TEL011-251-0855 / FAX011-251-0804

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会『特別研修会』  
日時：令和6年 2月26日（月） 14：00～16：00

## 参加申込書

FAX 011-251-0804

※記載していただいた個人情報は、特別研修会以外で使用することはありません。

お名前	
-----	--

連絡先(携帯)	
---------	--

所属 (いずれかに✓)	<input type="checkbox"/> 育成会・親の会 <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> 事業所・施設・福祉関係 <input type="checkbox"/> その他
----------------	--

参加方法 (どちらかに○)	会場                      •                      Zoom
------------------	---

Zoom用アドレス	
-----------	--

ご住所	
-----	--

↑↑  
※Zoom参加者：資料郵送希望の方のみ

☆定員：会場50名・Zoom参加100名のため、先着順に受付いたします。  
定員になり次第締め切りさせていただきます。

☆QRコードでの申し込みもできます⇒⇒⇒



締切：令和6年 2月16日（金）

## 私たち育成会、ただ今、奮闘中！

### 地区育成会の活動紹介 その6・7

## 4年ぶり、「親子療育バス旅行」

私たち「三笠市手をつなぐ育成会」は障がいがある方への理解や、福祉の向上を図ることを目的に活動を行っています。会員の方や、市内小中学校特別支援学級の児童・生徒・保護者、学校関係者の皆様に支えられ、今まで様々な活動を行ってきました。

4年前に「新型コロナウイルス感染症」が流行し、当たり前であった日常が一変しました。普通の生活をする事が当たり前になつていた私たちは、「普通に過ごす」ことの大切さを忘れていたようにも思います。

4年ぶりに実施した「親子療育バス旅行」、市内特別支援学級の児童・生徒・教員・保護者60名が集い「サッポロさとらんど」をめざします。アイス作り体験や施設内散策、皆で一緒に外でお弁当を食べ、沢山の交流と笑顔を見る事が出来ました。

ある保護者からは「子どもと旅行する機会はないし、先生ともゆっくり話が出来て良い時間を過ごせました。」とお声がありました。

「前回の生活がこれほど尊いものなのだと感じながら、関係者の皆様のご協力により無事に行事を終えられた事に



感謝し、次の計画を少しずつ考えている今日この頃です。

三笠市手をつなぐ育成会 事務局 中村 聡

## 一緒に「せんきょ」

### 考えませんか？

「重度の障がいがある子どもに選挙なんて無理！」そう思う保護者は案外多いようです。自分の子どもが持っている「1票の権利」。選挙について話したことがありますか？ 選挙に行くか、行かないか、聞いたことはありますか？

北見市手をつなぐ育成会が市の選挙管理委員会の協力のもとに実施した「模擬選挙（会場に入るところから、投票し終わるまで）」の動画が次のURLから視聴可能です。

子どもの意思決定について考える機会になれば幸いです。

北見市手をつなぐ育成会 理事 弓山 祐子

[https://youtu.be/OgnNRcaWxao?si=3b3qYTxBZ0r\\_hgFb](https://youtu.be/OgnNRcaWxao?si=3b3qYTxBZ0r_hgFb)



## 「能登半島地震」激甚災害に！

### 全国手をつなぐ育成会連合会（全育連）

## 『義援金』の募集を開始

本年、1月1日、能登半島を震源とする震度7の大地震が発生。津波とあいまって家屋

の全壊は広範囲に及び、200名を超す方々がお亡くなりになりました。心より、ご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆さまへお見舞いを申し上げます。

地滑りにより、むき出しとなった山肌や潰れた建物等、報道される映像を見るたびに2018年9月に発生した「胆振東部地震」と重なります。どんなにか不安で、不自由な生活を強いられていらっしゃるか、言葉がありません。

ライフライン等の復旧にも相当な時間を要することが予想されることから、政府は「激甚災害」に指定。そこで、全育連は関係被災者への生活支援、復興支援等を目的に募金口座を開設しました。つきましては、道内分を一旦、道育成会で取りまとめ送金します。皆様のご協力を心から呼びかけます。

（期限は4月末）  
\* 振込手数料は、各自でご負担願います。

### 【道育成会 取りまとめ口座】

北洋銀行 道庁支店

普通預金 3183166

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会

## 2月の予定

- 6日(火) 道教委へ「特別支援学校の狭隘化改善を求める要望書」提出
- 9日(金) 第2回 函館大会実行委員会
- 26日(月) 第12回 特別研修会

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気がケガが絶えない…成人病や生活習慣病に備えたい…他人の物を壊してしまった…虐待・雇用現場での差別など人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの **あんしん保険**

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの **こども傷害保険**

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

**ぜんち共済株式会社**

関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150  
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。  
【2020年1月作成 19-T06633】

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

**有限会社オフィスブレイン**

〒060-0032  
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階  
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

弁護士が全面的にサポート

知的障がい児者・自閉症児者の  
**生サポは 家族の安心を支えます**

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援  
●権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気がケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険  
**生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セト

主な補償内容

病気がケガで入院したとき <b>入院給付金</b>	病気で死亡したとき <b>疾病葬祭費用保険金</b> <small>※プランによって補償します</small>	虐待・逮捕・勾留に対応するとき <b>弁護士費用等補償</b> <small>※プランによって補償します</small>
ケガをしたとき <b>死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金</b> <small>(地震・噴火・津波によるケガも対象)</small>	賠償責任を負ったとき <b>個人賠償責任保険金</b>	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき <b>職業従事者事故対応費用補償</b> <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要です。詳細は下記までお問い合わせください。

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者  
**株式会社 ジェイアイシー 北海道支店**  
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102 レジディア大通公園2F  
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704  
受付時間: 午前9時～午後5時  
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社  
**AIG損害保険株式会社**  
<https://www.aig.co.jp/sonpo>  
**札幌支店**  
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F  
TEL: 011-204-7510  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

**北海道知的障害児者生活サポート協会**  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7 4階  
北海道手をつなぐ育成会内  
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804  
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2022年12月現在の内容です。(D-006318 2024-03)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を待っています。

★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 **ラポラポ**  
**就労継続支援B型事業所 工房赤平虹の架け橋**

〒079-1102 赤平市幌岡町113番地1  
TEL (0125)32-2181 FAX (0125)74-6181  
Eメール [rainbow-2728@msknet.ne.jp](mailto:rainbow-2728@msknet.ne.jp)

★定員 20名

★主な作業

- ☆リサイクル作業(回収、分別、銅線精選等)
- ☆委託作業(食品袋詰、革保護クリーム袋詰等)
- ☆工芸(ペーパークラフト小物作り等)
- ☆手芸(刺し子、フェルト小物作り等)



**チームワークを大切に活動しています!**

**北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会**

〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7(4F)  
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804  
E-mail: [doikusei@air.ocn.ne.jp](mailto:doikusei@air.ocn.ne.jp)

手をつなぐ育成会げっぼう2月号 第793号 | 6